

## 今月のトピックス

### 人事異動に伴う北陸整備局長の新任挨拶

本年7月7日付で国土交通省北陸整備局長に着任の小侯 篤氏が7月13日総務課水澤徳至調整係長の案内で県建設業協会を訪問され、吉光武志会長ほか副会長、各常置委員長、事務局役員等が出迎え、新任のご挨拶を受けたほか、地域情勢や当面の課題等についてなごやかに懇談が行われました。

なお、新局長の略歴については次の通り

おまた	あつし	
<b>小侯</b>	<b>篤</b>	(昭和36年10月12日生) 出身(本籍)東京都
昭和59年3月		東京工業大学工学部土木工学科 卒業
4月		建設省採用
平成4年4月		北陸地方建設局金沢工事事務所調査第一課長
平成7年11月		建設省河川局治水課長補佐
平成11年4月		建設省中部地方建設局庄内川工事事務所長
平成15年4月		岐阜県基盤整備部河川課長
平成18年7月		国土交通省河川局河川環境課河川環境保全調整官
平成20年4月		国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所長
平成22年4月		国土交通省河川局河川環境課河川保全企画室長
平成26年7月		国土交通省近畿地方整備局企画部長
平成27年7月		国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長
平成29年7月		現職



### 北陸地方整備局との意見交換会の開催

7月19日(水)午後2時30分から、石川県建設総合センター会議室において、北陸地方整備局との意見交換会を開催した。

北陸地方整備局の出席者は、小侯局長、渡辺企画部長、牧野建政部長ほか7名の整備局幹部と、当協会からは正・副会長及び常任理事が出席した。会議では冒頭に小侯局長から「担い手の確保」が喫緊の課題で、これを解決するためにも働き方改革やICT(情報通信技術)などの生産性向上に取り組んでいきたいと述べた。また、週休2日など就労環境改善に向けた諸施策展開の問題点について「業界の生の声を聞かせてもらって改善し、互いに良い方向に進んでいくことが大事だ」と強調した。吉光会長からは「担い手を確保するためには企業の安定的な経営が不可欠」とし、事業量の確保を要望した。また、担い手確保の取り組みとして「就労環境の改善が待ったなしの課題である」と訴えた。意見交換会では、「低入札価格調査基準のさらなる引き上げ」を強く要望する意見が出されたほか、地元自治体が行うまちづくりなどの交付金手続きについて、情報提供や相談に乗ってほしいなどの要望が出された。

北陸地方整備局及び当協会からの説明事項は下記のとおり。

#### 【整備局】

平成29年度の取り組みについて

- ・ 予算と主要事業
- ・ 建設現場の生産性向上
- ・ 担い手確保・育成
- ・ 受発注者間のコミュニケーションの確保

- ・ 平成29年度におけるその他の実施方針(工事の品質確保及び担い手確保・育成)
- ・ 建設業における社会保険等加入対策
- ・ 営繕関係

#### 【当協会】

いしかわの地域を支える建設産業ビジョンについて(担い手対策の取り組み)



# 最近の完成工事から

## いしかわ里山里海サイクリングルート ～石川県のサイクルツーリズムの推進～

石川県土木部道路整備課

### 1 はじめに

近年、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」や琵琶湖を一周する「ぐるっとびわ湖サイクルライン」など、自転車で旅行を楽しむサイクルツーリズムによる観光振興や地域活性化を図る取組が、全国各地でも見られるようになってきている。

本県においては、世界農業遺産に認定された能登の里山里海や日本三名山の一つに数えられる霊峰白山、日本で唯一自動車通行できる海岸である千里浜なぎさドライブウェイなど四季折々の自然景観や観光地があることに加え、総延長160kmの大規模な自転車道の他、道の駅や寄り道パーキングなどの休憩施設が県内各地に整備済であることから、国内外のサイクリング愛好家を惹きつける多くの魅力を有している。

これらのサイクルツーリズムによる観光振興や地域活性化を図ることができる基盤を活用し、この度、観光誘客の新たなツールの一つとして、「いしかわ里山里海サイクリングルート」整備に平成28年度から奥能登、羽咋、白山・川北の3地区で着手しており、今年度は、小松・加賀とかほく・内灘を加えた13市町の協力の下、加賀から能登までの観光地を巡るサイクリングルートを設定した。



図 - 1 サイクリングルート位置図

## 2 ルートの検討体制

本事業は新たに自転車道を建設するのではなく、既存の自転車道および国・県・市町が管理する道路を活用し、地域の観光地や道の駅、美しい景観がある箇所を巡るサイクリングルートを設定し、路面標示などによるルート案内、情報発信、安心してサイクリングを楽しんでいただくためのサポート体制の充実を図るものである。

したがって、国・県・市町の道路管理者の他、地域の魅力を発信できる県や市町の観光部局など様々な事業主体が関わることから、利用促進施策を検討する「いしかわ里山里海サイクリングルート利用促進協議会」(以下「協議会」という)を平成29年6月に設立した。

協議会では、金沢大学の高山教授をはじめ、県観光連盟、県サイクリング協会、国、警察、市町の土木、観光部局の他、アウトドアメーカーの(株)モンベルにも参加いただき、ルート設定やサポート施設など魅力あるサイクリングルートづくりについて協議を重ねたところである。

## 3 平成29年度の取り組み

全国への情報発信のため、(株)モンベルが運営するジャパンエコトラックに登録し、全国110店舗のモンベルショップでルートマップを配布する他、ジャパンエコトラックポータルサイトにて、当サイクリングルートの情報発信をしている。

また、利用促進を図るため、55箇所のサポート施設を巡るモバイルスタンプラリーを7月15日から11月30日まで開催し、利用者は地域資源を楽しんでいただける取り組みとなっている。

更に、ルート案内の充実を図るため、幅20cm・長さ1mの白色と水色の路面標示の設置に加え、スマートフォンが持つGPS機能を活用してルートやサポート施設の他、現在地を表示できるサイクリングアプリケーションを導入している。



写真 - 6 路面標示



写真 - 7 スタンプラリーの様子

## 4 おわりに

スタンプラリーの実施に合わせて、利用者の方々からのアンケート調査を実施しており、更なる魅力向上を行うこととしている。

この取組が、県内全域に拡大され、誰もが安心・快適にサイクリングを楽しめる環境の整備が進み、国内はもとより海外からもサイクリング愛好家が来県し、地域の交流人口の拡大、観光誘客の促進につながることを期待している。

読者の皆様も是非、ご利用頂き感想をお寄せください。

# 平成28年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.7

施工企業名：本建設工業株式会社

工事名 平成26年度 予防治山事業  
中ノ峠地区 山腹工事

施工場所 小松市中ノ峠地内

### 工事概要

土留工(銅製) N=5個 (L=74.0m)

法 枠 工 A=78.9m<sup>2</sup>

水路 工 L=119.3m

筋 工 L=129.5m

工期 平成26年10月8日～平成27年6月15日

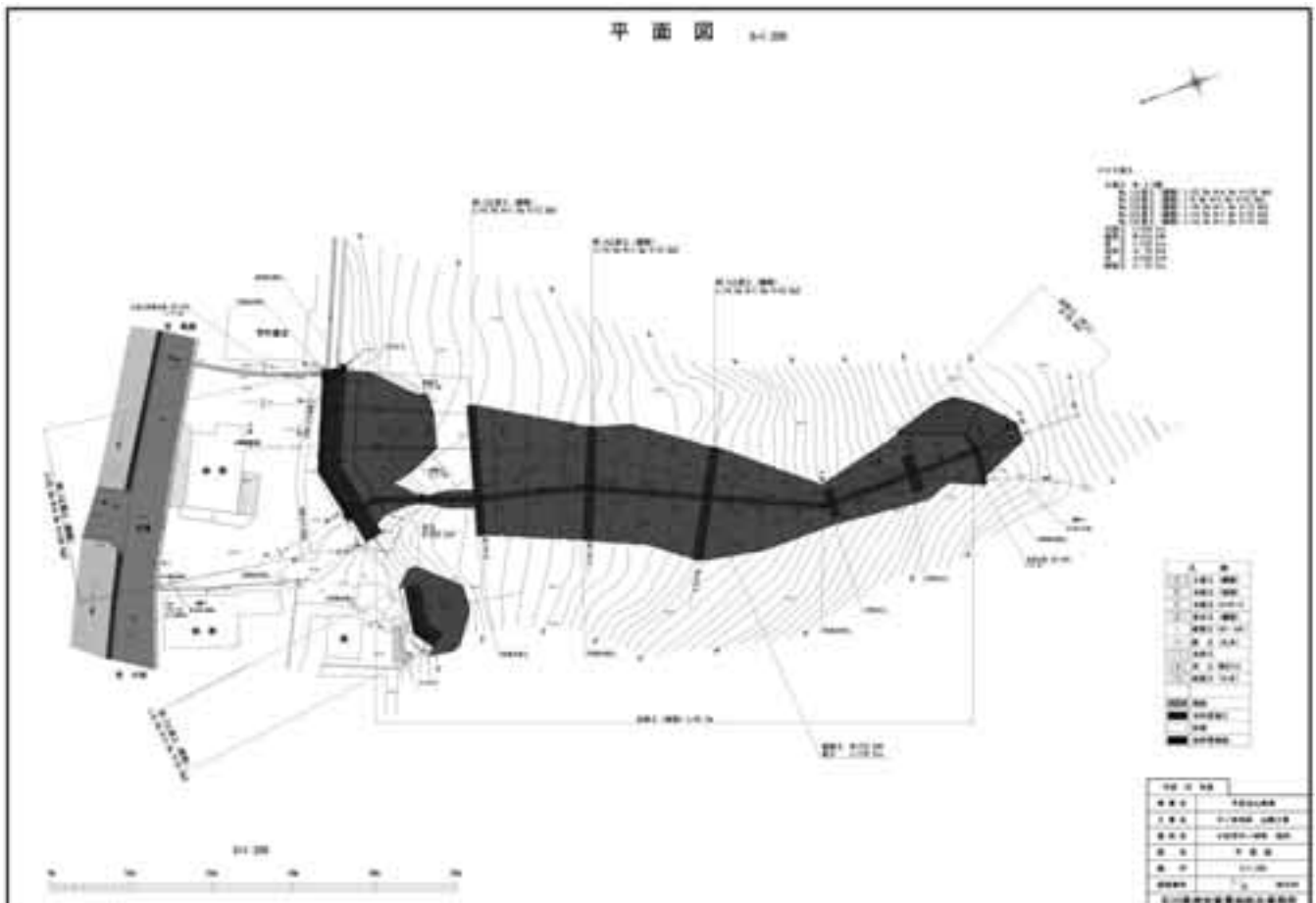


昇降階段設置

### 推薦理由

#### 人家裏の軟弱地盤での山腹工事

湧水に起因する軟弱地盤での山腹工事で、斜面直下に人家があり、迅速かつ的確な施工と厳重な安全管理が求められる中、優れた出来ばえに仕上げ、安全に工事を遂行した。



平面図



暗渠工設置状況



角型U字溝据付状況



丸太筋工



1号土留工

## 現場代理人のコメント

現場代理人  
丸七茂樹氏

この度は、知事表彰を頂きましてありがとうございました。

当工事は、小松市の山あいにある中ノ峠地区というところで、人家裏の軟弱地盤での山腹工事を施工いたしました。

工事内容は、山腹上部で一部崩落した箇所に法枠工を施工し、順に水路工、丸太筋工、土留工（かご枠工）を設置し、仕上げながら降りていく工事でありました。

上部施工時の段階で湧水が多く、その水処理対策が重要となりました。監督員と協議し、ピンポイントで湧水をキャッチできるように暗渠工（支線）を設置し、その水を水路工下部に設置した暗渠工（幹線）に集め、排水させました。また、丸太筋工施工については、降雨による表面排水が斜面の一部に集中しないよう、水平に設置することを心がけ施工しました。そのため安定した地盤を構築することが出来ました。

完成時には、地元住民の皆様からも喜びの言葉をいただき、大変嬉しく感激しました。

最後になりますが、この荣誉ある表彰を受けたことに対して、南加賀農林総合事務所の皆様をはじめ、中ノ峠地区住民の皆様や、工事関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 雇用改善コーナー

### 工業系高校生（金沢市立工業高等学校）の現場見学感想文

見学現場（株）ヨネモリ、日本通運能美物流センター、佛子園西圓寺

『ヨネモリでおどろいたことは溶接するロボットが居たことです。』

金沢市立工業高等学校 建築科 3年 麻井大生

まずはじめにヨネモリ鉄鋼の工場へ行きました。私たちは今までにいくつもの現場見学へ行きましたが、鉄骨を見るのは初めてでした。工場内はとても広く大きな柱や梁がたくさん置いてありました。特に一番おどろいたのは溶接をするロボットが居たことです。作業員の方が手作業で溶接をしているというイメージだったので本当にビックリしました。鉄骨はビニルシートをかぶせておくことで変形するのを防いでいました。工場内はとても暑かったです。扇風機がいくつもセットされていました。さらに作業服の中に風を取り込めるものもあと知りました。ヨネモリさんは細かく社内検査を行っていました。こうすることで事前にミスを防いでいると知りました。なので100年以上も続く信頼を得られているのかなと感じました。次に、物流センターの現場に行きました。倉庫ということなので空間が予想以上に広くておどろきました。建物は冬木工業さんとヨネモリさんが携わるものでした。鉄筋の間隔がせまくとってありました。フォークリフトが移動するためと知り納得しました。また、鉄骨造でコンクリートのスラブを、鉄骨の梁と一体化するために、スタッドというものをたくさん設けてありました。最近では3Dのキャドを使用していてより詳しく図面を見れるようになっていました。どんどん新しいものが利用されていっていると感じました。最後に、曳家の現場と西圓寺に行きました。実習で曳家をしていましたが、サイズが全然違いました。取りこわすのではなく建物を残すことで歴史を感じられると思いました。最後の現場が一番小規模でしたが、一番身近であるので気持ちが軽かったです。大きな現場も見ることができて本当に良い経験になりました。木造以外にも建設業ってたくさんあるんだと改めて実感できたし、視野を広げられて嬉しかったです。



(株)ヨネモリの見学

『西圓寺の現場では古くからあるものを、使い方を残して残していこうとする考え方が印象に残りました。』

金沢市立工業高等学校 建築科 3年 鋤崎竜也

今回の現場見学は今までにない大規模な工場や現場も見ることができると聞いていたので楽しみにしていました。

株式会社ヨネモリさんの工場では、何トンもの大きな鉄骨を回転させて作業をしやすくしている機械や溶接をするロボットが使われていて便利だと思いました。本溶接の段階で悪い点が見つかる大変なことから、各工程ごとにしっかり検査しなければならないことも分かりました。私は株式会社ヨネモリさんの石川県の外でも大規模な建物に携わっているという所に魅力を感じました。

日本通運物流センター建設工事現場では、スタッドというコンクリートと鉄筋の定着を強めるための物を使っていることを知りました。最近では外国人の技能実習生が来ていることや、iPadのFaceTimeで現場と事務所のやりとりをするなどしているということ、若い世代の人たちのほうがCADができていて、という話を聞き、驚きました。現場監督で大事なことは、安全管理であると聞き、やっぱり安全第一なのだ改めて思いました。私は現場監督の仕事に就きたいと思っているのでためになりました。

佛子園西圓寺、建設工事現場では、既存不適格となる建物の基礎や、腐ってしまった垂木などを新しい物にかえる工事を行っていて、古くからある物を、使い方を残して残していこうとする考えが良い



佛子園西圓寺の見学

と思いました。最近、授業で習ったやりかたが現場にあり、実際に見ることができて良かったです。西園寺は広い建物ではなく、車イスが通るとすれ違いができなくなる狭い廊下などもあるが、そのおかげで、人と人のかかわりが生まれていてとても良い施設だと思いました。西園寺は温かくおちついた雰囲気印象的で、ずっといたくなるような所でした。

次の現場見学が楽しみです。

『日通物流センターでは規模が大きいことや置かれている鉄骨の数におどろきました。』

金沢市立工業高等学校 建築科 3年 野原 陽

昨年の夏に、鉄骨造の現場に就業体験をさせていただきました。その時は、建方がほとんど終わっていたので、実際に運ばれてくる鉄骨を目の前で見ることにはびっくりとした大きさというものがわかりませんでした。株式会社ヨネモリに着いたときは、工場の大きさ、置かれている鉄骨の数に驚きました。工場内に入り、自分の横にある鉄骨を目前にすると、自分自身と同じくらいの高さがあるのかと思うと、鉄骨の大きさがどれだけ大きいものなのかがわかりました。工場と聞くと設計する人は別にいて、作業しているだけというイメージを持っていました。しかし、設計を行う部署が置かれていたので加工するだけではないことを知りました。

今まで木造のものであったり、小規模なものがほとんどでした。日通の物流センターということもあり、外からも中からもとても広々としていました。規模が大きくなるにつれて、作業する人たちも増え、現場をまとめ、指示していく監督の人の仕事も増えていくことを考えてみると、自分のしたい監督業は相当大変だと思いました。工程のこと、作業人員、搬入出、材料の計算など少しのことでももう一手間がかかるので慎重さとスピードも重要になるのではないかなと考えていました。材料などを作ってもらったとき、現場の近くに工場があることで、通常溶接しなければならぬ長い柱も一本にして運ぶことが可能になる話を聞いて、現場だけに限らず、外側の部分についても考える重要さを知りました。

最後の現場の方との話で、最近の住宅は建てるだけでなく、元からあったものを改修して再利用することも重要になってくるというのを聞きました。古くからある建物を使い続けていくには、お金は新築するよりかかるかもしれないが、家としての雰囲気だったり使いやすさだったり、住みやすい生活を送ることができると思うと、機会があればやってみたいと思いました。

『今回の現場見学では実物を見て改めて知ったこと新しく学ぶことなど多くを学びました。』

金沢市立工業高等学校 建築科 3年 山田竜聖

今回の現場見学では株式会社ヨネモリさん、日本通運能美物流センターの現場、西園寺の見学へ行き実物を見て改めて知ったことや、建築物の修繕のように初めて見て新しく学ぶことなど多くのことを学びました。

初めに訪れた鉄骨の溶接や塗装を行う工場のヨネモリさんでは、まず溶接するためのロボットがあることが驚きました。テレビなどで見る溶接の作業では手作業でやっているのが実際に溶接をしているロボットを見ましたが多くの製品を誤差なく正確につくらなければいけないため、ロボットによる溶接は必要だが、話を聞くと最後の溶接は手作業と聞いて良い鉄骨をつくるにはロボットの繊細な技術とプロの丁寧な技術が大切なのだと思った。また、Hグレードという全国の会社の3%しかない会社の一つであったり、私もよく行く金沢フォーラスにもヨネモリさんの鉄骨が使われていたりなど先生から聞いてはいたがとても大きな会社なのだと思います。

次に訪れた日本通運能美物流センターの現場では、倉庫ということもあり天井の高さも高く、シャッターを設ける所が多くありました。ここの建築物は鉄骨構造でここの鉄骨にもヨネモリさんの鉄骨が使われていて工場に近いこともあり大きな鉄骨が使われていてすごいと思いました。

最後に訪れた西園寺では、建築物の修繕途中の物と、修繕が終わり施設として使われている建築物の見学をし、修繕中の物は柱や梁がボロボロで補強してあっても木材の色などが違い不恰好に思えましたが完成した物を見ると補強した場所もわからないくらいでした。お寺を修繕したということで廊下が狭いなど不便な点もありましたが、そこを声をかけ合い通るといったコミュニケーションの場というようにとらえて活用しているということがすごいと思いました。



日本通運能美物流センターの見学

### 地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成29年度 第1回より～

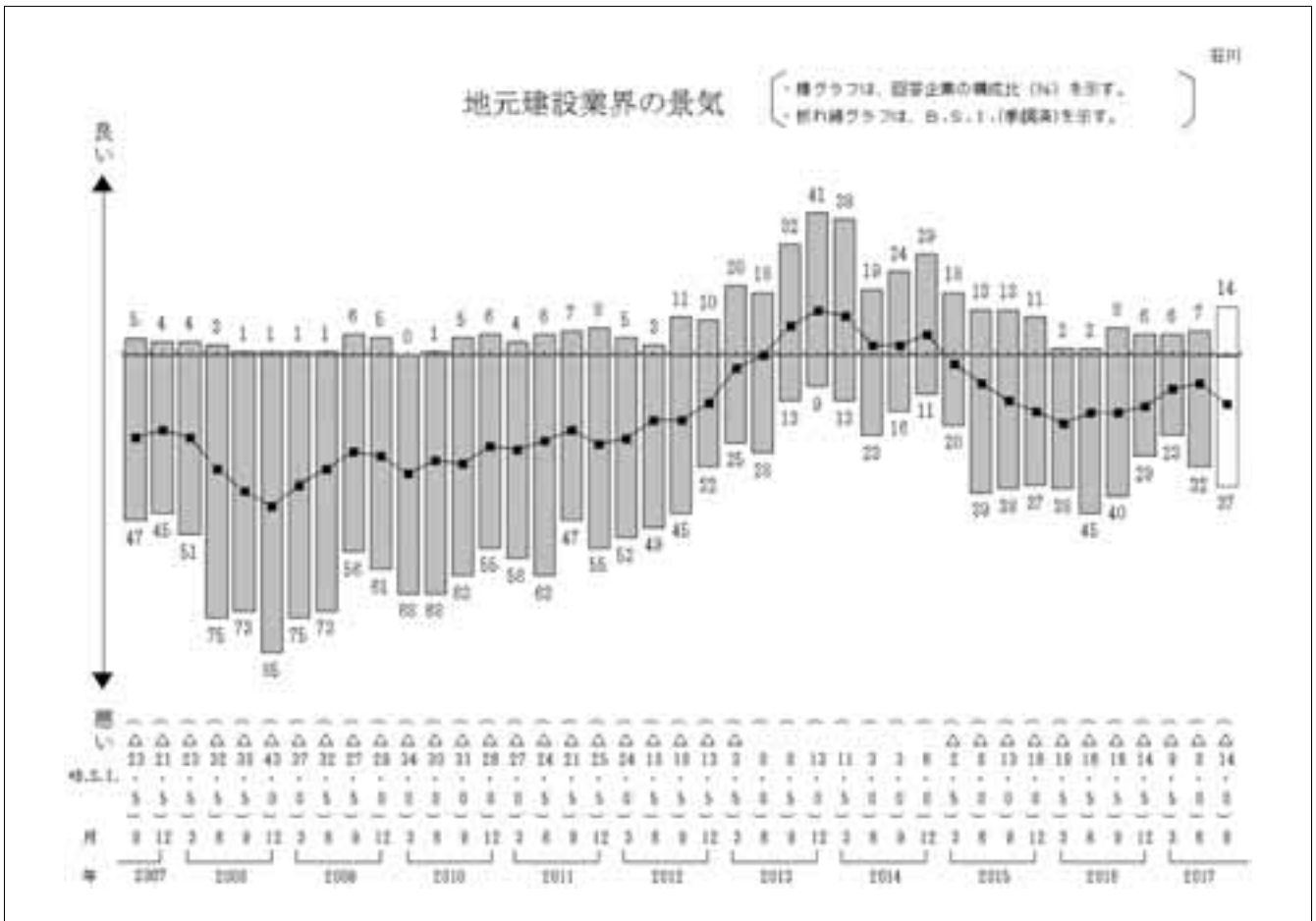
東日本建設業保証(株) 石川支店

<b>今 期</b>	<b>悪い傾向が続いている。</b>
	「悪い」の回答企業の構成比が「良い」を上回り、32%となっている。 B.S.I.では 8.0(前期 9.5)となっており、悪い傾向が続いている。

「今期」：平成29年4月～6月 実績

<b>来 期</b>	<b>悪い傾向が強まる見通し。</b>
	「悪い」の回答企業の構成比が「良い」を上回り、37%となっている。 B.S.I.では 14.0(今期 8.0)となっており、悪い傾向が強まる見通し。

「来期」：平成29年7月～9月 見通し



#### 【B.S.I.の見方】

「B.S.I.」は、企業の意識調査の結果を数値化したものです。

すべての企業が「良い」と見ているときは50、その逆はマイナス50、すべてが「変わらず」と回答したときは0になります。



## 地区協会コーナー

# 災害時における応急対策活動の実践力向上を目指して

(一社)金沢建設業協会

### 1. 背景

近年、世界中で大規模な災害が頻発しています。日本国内でも平成7年1月の阪神・淡路大震災、平成16年10月の中越地震、平成19年3月の能登半島地震、平成19年7月の中越沖地震による震災、平成23年3月の東日本大震災、昨年4月には熊本地震による震災などが発生しています。また、大規模水害の発生は、地球温暖化とも相俟って常態化し、毎年、日本の何処かで必ず発生しており、今年も九州北部豪雨により甚大な被害が発生していますし、平成20年7月に発生した浅野川水害も記憶に新しいところです。

このような大規模災害が発生した場合、減災に繋げる応急対策活動は、建設業界の重要な社会的責務です。このため、金沢建設業協会では、県・市の地域防災計画と整合を図り、平成26年2月に協会のBCPを策定したところであり、また、平成27年1月29日には、社会環境の変化に合わせ、市と新たな「災害時における応急対策活動に関する協力協定」に調印しました。

### 2. 経過

- ・平成9年1月 金沢市 災害時における応急対策活動に関する協力協定
- ・平成20年12月 石川県 災害時における応急対策工事に関する基本協定  
注) 県協会が調印
- ・平成25年4月 県央土木 災害時等における応急対策工事に関する細目協定
- ・平成26年2月 金沢建設業協会BCPを策定、併せて県、市に提出
- ・平成27年1月 金沢市 新たな災害時における応急対策活動に関する協力協定 など  
注) 協定内容は、これまでの協定に比べ社会貢献色が濃い

### 3. 協会の具体的な任務

発災直後の協会の具体的な任務は、建物、道路など公共施設の被害状況調査、ライフラインの復旧作業のほか、最も重要な任務が緊急輸送道路の啓開作業です。大規模災害が発災すると、全国の関係機関から緊急援助隊や緊急物資輸送が殺到します。緊急輸送道路が確保されていないと一切の支援が受けられなくなります。

### 4. 課題

金沢建設業協会の全社が、協会BCPに基づく災害時の応急対策活動を迅速かつ円滑に一体となって実施出来るように体制を構築しなければなりません。このためには、発災時の対応可能な人員及び資機材の把握が必要であり、まず、協会としての安否確認システムの導入が不可欠であったため、これまで、システム検討、説明会の開催、実証訓練を重ね、今年度、ようやく導入することが出来ました。

しかし、応急対策活動の実効性の向上を図る上で、まだ大きな課題があります。各社が取り組まなければならない各社社員の安否確認方策の確立とこのことを含む各社のBCPの策定です。

これらについては、各社の取り組み状況に大きな差があります。

### 5. 対応

金沢建設業協会では、各社のBCP策定を促すため、全88社の防災責任者を対象として、BCP策定講習会を9月に開催することを目指し、青年委員会が中心となって準備を進めています。また、これらの対応を踏まえ、県市とも連携して12月には、災害時応急対策支援訓練の実施も予定しています。

体制の構築後は、訓練を繰り返すことが重要です！

注) 金沢協会では、市域を5ブロックに分割し、各ブロックに全88社を配置しています。

毎年、3月には、各班の正副班長、土木・建築部会役員、青年委員会技術防災セクションメンバーにより、新年度の災害時対応について討議、確認をする会議を開催しています。



H28.11.14 BCP訓練説明会



H28.12.15 BCP訓練実施状況 (情報収集・処理)

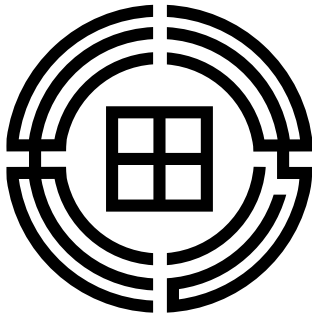


H29.3.15 新年度対応に向けた正副班長会議

## 会員リレーコーナー

166 株式会社 田村

(所在地：金沢市東山3丁目3番34号)



社章

### <砂の上のロビンソン>

1、2階がRC造で、3階は木造のこの家は、内灘砂丘の傾斜地に建つという特性を最大限に活かして、分厚いコンクリートの箱に内包された「重い」「閉じた空間」と、今にも飛翔せんとする屋根をなんとかつなぎとめている木造の架構によって構成された「軽い」「開かれた空間」との、鮮やかな対比にその特徴がある。

「砂の上のロビンソン」というドラマは、憧れのマイホームを手に入れるために、住宅展示場で「擬似家族」を演じることにした本当の家族が、演じることで壊れかけた家族の絆を、逆に、演じることをやめることでようやく取り戻していくストーリーだったように記憶する。

「家をつくる」ということは、私たち「施工者」にとって(もちろん「設計者」にとっても)「擬似家族」を演じるに近い行為である。つまり「家をつくる」ということは、その家で「家族をする」ことを思い描きながら進められていく、或いは、進められるべきだと思うのだ。

そして引渡しが終わったあとは、施主が当然のことながら、私たちとはまた違った解釈で「家族をする」。そのようにして、三者三様の解釈で「家族をする」ことができた時、そのような計画に参加できたことを「幸せな出会い」だった、というのではあるまいか？

「ワトソンハウス」(平口泰夫建築研究室)  
竣工に寄せて

### <足跡を消しながら>

巾3.6m、長さ18mの竿の先に、先のとがった台

形の旗が付いている、典型的な旗竿敷地である。旗の向こうは伏見川の桜並木で、川に向かって降りていく庭を設ければ、四季折々の見事な眺望を楽しむことができる、抜群の敷地なのだ。建物さえ建ててしまえば...

しかし、旗竿敷地の真ん中に建物が建ててしまったら、その奥にある川に面した庭の造成を行うことはできないのだから、施工者側のミッションは、まるで枯山水に櫛目をつける庭師のように、自らの足跡を消しながら進められることになった。

スキップフロアのもとに使い勝手のいい空間と、それを一体的にすっぽり蔽った大きな屋根という、設計者の意図を実現させるためにも、綿密な打ち合わせによる架構上の工夫が随所に要求されたわけだが、そんな苦心など、出来上がってしまえば目には見えなくなってしまうからこそ、この居心地の良さがあるのだろう。

私たち施工者は、お手伝いさせていただいた建物に自分たちの手跡を残すのではなく、ひょっとしたら自らの足跡を消しながら、関わっていくものなのかもしれない。

伏見川もやがて満開の桜である。絵に描いたような眺望に一献傾けながら、懐かしい大工さんの顔など思い浮かべていただけたなら、お手伝いさせていただいた施工者としては望外の喜びというものだ。

「楽桜居」(林建築設計工房) 竣工に寄せて

大正4年の創業以来、三代百年にわたり、お手伝いさせていただいた数々の建物。その一つ一つの建物の、それぞれの歴史が、そのまま株式会社田村が歩んできた歴史の証です。

### <伝統を明日に活かす>

という社訓は、古い歴史に学びながら、常に新しいページを付け加えていきたいという、私たちの姿勢の表明です。株式会社田村は、先輩達が築き上げてきた歴史を誇りとし、守り育むと同時に、常に革新の気概を持って、新しい私達の歴史を付け加え、自信を持って後輩達に受け継いでいく、そんな会社を目指しています。

今回は株式会社城北建設 代表取締役 寺西茂正さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひいたします。

(株式会社 田村 代表取締役 田村優樹)

# 今月の「輝き！」さん

No. 29



## 日本海建設株式会社 北出雄太さん

業 種：土木技師  
 経験年数：1年3ヶ月  
 年 齢：19歳

日本海建設(株)は土木一式を請け負うゼネコンで、金沢市神田町に本拠を置きます。今日は、海に面する加賀市橋立港の日本海建設の現場事務所に今月の輝きさんを訪ねました。

- 事務所前の港の広場では大きなテトラポッドが作られ、その脇にはそれをけん引する大型のクレーン付の台船が接岸していますが、ここではどんな工事をしているのですか？

港に出入りする航路の安全を確保するため、あのテトラを敷き詰め、波や砂の流れを止める堤防を作っています。あのテトラ1個の重量は12トンです。

- ここでは、何人ぐらいが働き、あなたはどんな仕事をしているのですか、また海の仕事にはどんな特徴がありますか？

ここで働いているのは社員が4名で、出入れの下請けさんが6名平均です。私が一番の若手で、ここでの私の仕事は測量や現場写真の作成、人や物の手配などの連絡係が私の主な仕事です。

海の現場では、勤務時間も工期も天候に左右されます。出勤時間は海が穏やかな午前6時から7時出勤で、工期も冬場が近くなると海が荒れることから9月までとなっています。

- 会社に入社し2年目と聞きましたが、これまでの経歴等について教えてください。

私は金沢市の出身で金沢市立工業高校の土木科を卒業し、卒業と同時にこの会社に入社しました。入社

の動機は高校のインターンシップで、この会社にお世話になったことから馴染み易さがあったからです。入社後、私は土木部に配置され技師見習いとして、消波ブロックの制作、河川の拡幅工事、海での護岸工事等の現場を経験し、現在の現場には先週の7月10日から配置になり、まだ1週間ほどしかたっていません。

- 土木の魅力はなんですか？また、あなたの将来の目標を教えてください。

最初から土木を目標としたわけではないのですが、父が土木の監督をやっていることから結果的に同じ道を歩むこととなりました。実際土木に携わってみて感じる魅力とは完成した時の達成感だと思います。仕事上の目標は現場を任される現場代理人になることですが、今いろいろな現場で導入が始まっているICT技術にも挑戦し会社の役に立ちたいと思っています。

- 職場環境にはなれましたか？

どの現場に行っても20代の先輩がいなく40代を超える先輩ばかりですが、それを察してか色々と話しかけていただき、ありがたく思っています。

- あなたの趣味はなんですか？またあなたのPRポイントはなんですか？

趣味はドライブです。先月マイカーを購入しました。この現場へは金沢の自宅から会社の車で通っており片道40キロを超えますが、車の運転が好きですからあまり苦になりません。

私の長所は、忍耐強く根気があることだと思います。どんな環境でも耐えられる根気強さがあります。私の母親に似たのだと思います。

夢の実現には努力が必要で、努力の継続には根気が必要です。その「根気の強さが長所」といった輝きさんの言葉に、昔気質の職人さんの臭いと頼もしさを感じました。



## けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### 平成29年 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰の受賞

平成29年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰が発表され、7月10日(月)午前11時より国土交通省10階共用大会議室において表彰式がとり行われました。

当協会関係では、建設事業関係功労者として西正次県協会理事((株)丸西組代表取締役)、水内健之県協会理事(城東建設(株)代表取締役)及び森岡篤弘(一社)プレハブ建築協会理事(日成ビルド工業(株)代表取締役)が受賞の栄に輝きました。

功労者表彰受賞の三氏は、「多年建設業に精励するとともに関係団体の役員として業界及び地方業界の発展に寄与した。」功績により表彰されたものです。

受賞の各位に深甚の敬意と祝意を表しますとともに、更なるご活躍を祈念申し上げます。



西 正次氏



水内健之氏



森岡篤弘氏

### 平成29年度石川県建設産業労働災害防止大会の開催

(一社)石川県建設業協会、石川県建設産業連合会、建設業労働災害防止協会石川支部主催の平成29年度「石川県建設産業労働災害防止大会」は、県下の地区協会及び建設業協同組合の協賛を得て、7月3日(月)午後2時から石川県建設総合センター7階大ホールにおいて、事業主や関係者160名の参加を得て実施された。

大会では冒頭 吉光武志大会会長が、職場を挙げて安全意識の醸成に努めていただきたい旨の挨拶を行い、続いて来賓の

石川労働局長 代理 篠山賢一石川労働局労働基準部長  
国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長  
代理 万行康文工事品質管理官

石川県土木部長 代理 松田洋一郎石川県技監

の3氏がそれぞれに、本大会の開催に伴う祝辞を述べられた。

この後大会は、県協会 建設青年委員会北川隆明委員長が大会宣言を披露し、満場一致でこれを採択した。

引き続き大会第2部の建設業安全衛生管理研修では講演テーマ1として、「アルコールの面白話」と題し、(株)小松製作所本社健康増進センター粟津健康管理室長南 昌秀氏が、続いて講演テーマ2では「保険所から見た高齢労働者の健康対策」と題し、労働衛生コンサルタント、産業カウンセラー亀田真紀氏が講演を行い大会を終了した。



会場風景



吉光大会会長



篠山労働基準部長



万行工事品質管理官



松田石川県技監

## 建設業社会貢献活動推進月間中央行事への参加

(一社)全国建設業協会では、平成18年度より、事業の柱として、良好な社会資本整備の必要性和、建設業並びに公共事業に対する正しい認識と理解を得るため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、東京において、「月間中央行事」を開催しております。

本年度は、7月20日(木)午後2時から、東京の経団連会館において「月間中央行事を開催」、石川県から、県協会の五天事務局長及び今回、建設業ふれあい活動の受賞者として、(一社)羽咋都市建設業協会から吉岡茂和専務理事が出席しました。

当日は、最初に、全建の近藤会長の挨拶の後、ご来賓の国土交通省土地・建設産業局長田村 計氏より挨拶があり、続いて、社会貢献活動功労者表彰に移り、当県からは、下記のとおり表彰されることとなり、(一社)羽咋都市建設業協会に対し、全建の近藤会長より表彰状及び記念品が授与された。

因みに今回の受賞者は、都道府県協会及びその支部29団体並びに会員企業23社でした。

引き続き、受賞者の中から、(一社)熊本建設業協会の「熊本県建設業協会各支部における災害復旧活動及び防疫活動」及び株式会社加藤建設の「ビオトープ管理士取得による社員の環境意識向上と環境保全活動」並びに株式会社山田の「経営難で閉鎖したキャンプ場の再生による地域活性化活動」の3件についてそれぞれ事例発表があった。

その後、休憩を挟んで、全建顧問・前参議院議員脇 雅史氏より、『これからの地方のあり方』と題して、記念講演会が開催された。

最後に、ご来賓、講師、関連団体並びに出席者全員による懇親会が、全建岩崎副会長の挨拶・乾杯の発声により開催され、それぞれ情報交換等に和気あいあい有意義な時間を過ごした。



### 記

当県における受賞内容及び受賞者

- ・内容 建設業ふれあい活動「小学生の目から見た建設の絵コンクール」
- ・受賞者 一般社団法人羽咋都市建設業協会

## 委員会の開催

### 土木委員会

#### 地区協会と県協会土木委員会との意見交換会の開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、7月5日(小松能美建設業協会、加賀建設業協会)、7月14日(白山野々市建設業協会、河北郡市土建協同組合)、7月18日(金沢建設業協会)、7月20日(七尾鹿島建設業協会、鳳輪建設業協会・珠洲建設業協会)、7月20日(羽咋都市建設業協会)において、国交省所管工事や石川県土木部所管工事、市・町所管の建設工事について、各地区協会で抱えている課題等に関する意見交換会を開催した。意見交換会には、各地区協会からは会長、副会長、土木委員会役員、土木部会役員、事務局に出席を頂き、県協会土木委員会からは正副委員長、役員(一部地区のみ)、事務局が出席し、県内8会場で延べ人数106名の方に出席を頂いた。

開催にあたり冒頭に県協会土木委員長、各地区協会会長等からの挨拶の後、意見交換会が行われ、各地区協会からは入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工関係、監督検査関係、改正品確法などに関する問題点や諸課題に対する意見・要望が出され、これらの課題について県協会土木委員会と質疑応答

による活発な意見交換が行われた。

なお、意見交換会で出された課題等は早急に取りまとめて、国や県の発注者に伝える機会を設けることにしている。



金沢協会



加賀協会



小松能美協会



白山野々市協会

## 建築委員会

### 石川県公共建築事務連絡協議会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、7月7日（金）に、県建築部局幹部職員と建築関係3団体の幹部役員による公共建築事務連絡協議会を、ホテル日航金沢にて開催した。

主催者側の橋本委員長挨拶の後、県の畝本秀一参事と、県建築士事務所協会の西川英治会長、県建築設計監理協会の荒木 修会長代行の挨拶の後、初めに県の畝本参事、熊田康也建築住宅課長、岡本 悟嘗繕担当課長、渡邊 学技術管理室課参事より今年度事業計画等の説明があり、引き続き各団体の提言事項となった。

県建築士事務所協会側より、「委託業務範囲を明確にし、不測の追加業務に適切な対処を」、「委託業務の最低制限価格引き上げを」、「大型工事設計の参加資格の緩和とプロポーザル情報に徹底公開を」について、県建築設計監理協会側より、「県内自治体が設計監理業務に最低制限価格を取り入れるように指導と最低制限価格の引き上げ」と「プロポーザル方式の幅広い採用と参加条件の緩和」等について要望の提言案件があった。

当協会からは、「発注時期の平準化と適正な工期設定について」、「長時間労働の規制について」、「快適トイレの実施要領について」等について要望説明の後、県側より各々の提出案件に、具体的な回答を頂いた。特に長時間労働問題については県、設計団体、建設業界ともに担い手育成のための必要な施策として認識し今後とも理解を深めていくことで一致した。

最後に、岡 昌弘副委員長の挨拶で閉会となった。



## 広報・研修委員会

### 企画部会の開催

7月20日（木）午前10時30分から石川県建設総合センター403会議室において企画部会（部会長 高田直人）が開催された。冒頭高田部会長が挨拶を行い、引き続き下記議題について次の通り審議を行った。

- 1 協会報8月号について  
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 平成29年度「けんせつセーフティドライブコンテスト」参加状況  
本年度の6月から翌年2月までの9か月間実施される標記コンテストの参加状況が報告された。
- 3 研修所からのお知らせについて  
建設業経営講習会in能登2017、石川県ICTフェアの開催結果及び情報共有システム講習会の開催について報告が行われた。



～ 広報・研修委員会からのお知らせ～

平成29年度 「けんせつSDコンテスト」参加状況

本年度も「けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト」が6月1日から翌年の2月2日の9ヶ月間の実施が開始されました。本年度の参加状況及び年別実施結果は下表の通りですが、本年度も昨年度に引き続き参加者が増加しましたことを喜んでいます。

本年度も達成チームの中から抽選で選ぶ食事券30チーム分を準備いたしました。本コンテストへの参加を契機に奮いを新たに、一人でも多くの無事故無違反の達成者が増えることを願っています。

平成29年度けんせつSDコンテスト参加状況

参加団体	平成29年度参加状況					
	参加企業数	前年比	参加チーム数	前年比	参加人員数	前年比
金沢建設業協会	35	-1	103	+2	510	+11
加賀建設業協会	19	±0	24	+2	120	+11
小松能美建設業協会	27	-2	65	+3	324	+14
白山野々市建設業協会	62	-1	82	-2	409	-7
河北郡市土建協同組合	26	±0	27	±0	134	-1
羽咋郡市建設業協会	20	-1	85	+4	425	+20
七尾鹿島建設業協会	26	±0	88	+5	435	+25
鳳輪建設業協会	25	-2	37	±0	185	±0
珠洲建設業協会	15	+1	54	+6	270	+30
石川県建設業協会	1	±0	3	±0	15	±0
合 計	256	-6	568	+20	2,827	+103

過去5年間の実施結果年別推移

実施年度	参加チーム数	達成チーム数	チーム達成率	参加人員	達成者数	個人達成率
平成24年度	508	284	55.9%	2,531	2,249	88.9%
平成25年度	509	303	59.5%	2,529	2,259	89.3%
平成26年度	523	295	56.4%	2,592	2,298	88.7%
平成27年度	541	340	62.8%	2,692	2,443	90.8%
平成28年度	548	321	58.6%	2,724	2,436	89.4%

## 建設技術研修所

### ・「建設業経営講習会 in 能登2017」の開催

「建設業経営講習会 in 能登2017」を7月11日(火)に(一社)鳳輪建設業協会、東日本建設業保証(株)、土木施工管理技士会との共催で輪島市の(一社)鳳輪建設業協会で開催した。

講習会には能登地区を中心に39名が参加した。講習会では(株)建設経営サービスの高木元也氏が「現場の安全12ヶ月」を演題に講演し、年間を通じての安全活動への取組を具体的に解説した。

アンケートでは、ほとんどの参加者から「大変参考になった。」「聞きやすく分かりやすい講習でした。」などと高評価をいただき大変有意義な講習会となった。



### 記

主催	(一社)鳳輪建設業協会	(一社)石川県建設業協会
共催	東日本建設業保証(株)	石川県土木施工管理技士会
日時	平成29年7月11日(火) 13:00~15:30	
場所	(一社)鳳輪建設業協会 輪島市河井町2部282-1	
演題	「現場の安全12ヶ月」 ~ 毎月テーマを掲げ、現場の安全活動を活性化させよう ~	
講師	(株)建設経営サービス 高木 元也氏	
受講対象者	会員企業の管理部門長、安全担当責任者、現場技術者	

## 石川県土木施工管理技士会だより

### JCM セミナー (DVD 講習会) の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、6月23日(金)石川県建設総合センター、7月21日(金)能登空港ターミナルビル4階講義室の2会場においてJCM セミナー(DVD 講習会)を開催した。

この講習会は、DVDによる2つの講義(仮設構造物の設計と施工(土留め工) 工事の品質と生産性向上のための手引き)を受講することにより、CPDSが6ユニット付与される。

今回は、2会場で99名の参加があり、出席者は熱心に講義を受講していた。

当技士会では、今後JCM セミナーを8月2日(水)、JCM セミナー特別講習会を9月13日(水)に石川県建設総合センターにて開催を予定している。





# 業界時報

## お知らせ

官公庁及び(一社)全国建設業協会から発出の通達関係書類は、本年7月1日より運用開始のグループウェアの掲示板に掲載しております。

## 平成29年7月 人事異動（国土交通省関係分抜粋）

北陸地方整備局（7月7日付）

職名	氏名	前任地職名
局長	小俣 篤	水管理・国土保全局 河川環境課長
次長	佐々木 宏	港湾局 海洋・環境課長
港湾空港部長	小池慎一郎	港湾局 計画課港湾計画審査官

### 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成29年分）

平成29年6月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	3	( 3 ) 17	4	( 3 ) 24	18	282
小松監督署	2	( 3 ) 7	1	( 3 ) 10	13	99
七尾監督署	2	( 3 ) 5	7	( 3 ) 14	11	72
穴水監督署	1	( 3 ) 4	0	( 3 ) 5	3	25
計	8	( 12 ) 33	12	( 12 ) 53	45	478
前年同期	10	( 12 ) 28	7	( 12 ) 45	45	423

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
4月分	486	286	169.9%	2,030	1,950	104.1%	2,516	2,236	112.5%
5月分	668	193	346.1%	4,387	1,285	341.4%	5,055	1,478	342.0%
6月分	373	717	52.0%	4,027	1,237	325.5%	4,400	1,954	225.2%
年度累計	1,527	1,196	127.7%	10,444	4,472	233.5%	11,971	5,668	211.2%
27年度累計		1,079	141.5%		7,397	141.2%		8,476	141.2%
26年度累計		1,595	95.7%		6,926	150.8%		8,521	140.5%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
4月分	1,325	2,490	53.2%	545	69	789.9%	1,870	2,559	73.1%
5月分	1,085	2,691	40.3%	529	236	224.2%	1,614	2,927	55.1%
6月分	2,326	4,129	56.3%	1,587	4,427	35.8%	3,913	8,556	45.7%
年度累計	4,736	9,310	50.9%	2,661	4,732	56.2%	7,397	14,042	52.7%
27年度累計		8,165	58.0%		2,736	97.3%		10,901	67.9%
26年度累計		11,288	42.0%		4,641	57.3%		15,929	46.4%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%		29年度	28年度	%
4月分	4,386	4,795	91.5%	年度累計	19,368	19,710	98.3%
5月分	6,669	4,405	151.4%	27年度累計		19,377	100.0%
6月分	8,313	10,510	79.1%	26年度累計		24,450	79.2%

## 会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
真柄建設(株)	小野 征男	まがら たかし 真柄 卓司	平成29年6月29日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 平成29年8月行事予定

- 8月 2日(水) 石川県土木施工管理技士会JCMセミナー  
 3日(木) 正副会長会議  
 常任理事会  
 5日(土) 情報共有システム講習会  
 10日(木) 土木用コンクリート製品評価委員会  
 (新潟 北陸地方整備局)  
 18日(金) 会報編集委員会  
 21日(月) 広報・研修委員会 企画部会  
 「北陸の建設技術」編集委員会  
 (上越市高田河川国道事務所)  
 22日(火) 建築委員会 加賀地区合同建築委員会  
 (小松能美建設業協会)  
 全国建産連 総務委員会  
 (東京 建設業振興基金)  
 全建 地域懇談会ブロック会議打合せ  
 (東京 建設会館)  
 ICT活用工事現場見学会(石川地区)  
 (輪島市三井町小泉地先)  
 29日(火) 事務局打合せ  
 31日(木) 「建設業者のための独占禁止法講習会」  
 (石川県地場産業振興センター)

- 25日(月) ゴルフ大会 (片山津ゴルフ倶楽部)  
 26日(火) 北陸建設業協会 会長会議  
 (富山 ANAクラウンプラザホテル富山)  
 27日(水) 全国建産連 全国会長会議  
 (京都 ウェスティン都ホテル京都)  
 地方ブロック建設工事従事者安全健康確保推進  
 会議 (新潟 北陸地方整備局)  
 28日(木) 東日本建設業保証 取締役会(東京 本社ビル)  
 土木委員会現場見学会・研修会(～29日)  
 (富山県・長野県)  
 10月 5日(木) 全国建設労働災害防止大会(～6日) (札幌)  
 17日(火) 北陸地域懇談会  
 (富山 ホテルグランテラス富山)  
 11月 1日(水) 全国建設労働問題連絡協議会(東京 鉄鋼会館)  
 6日(月) 正副会長会議  
 保証事業石川協議会 (KKRホテル金沢)  
 20日(月) 東日本建設業保証 役員・参与懇談会  
 (東京 パレスホテル東京)  
 24日(金) 全建 理事会・会長会議 (東京 経団連会館)  
 12月14日(木) 全建 理事会・地域懇談会意見交換会等  
 (東京 経団連会館)

平成30年

- 1月19日(金) 協会・組合 新年会 (ホテル日航金沢)  
 2月16日(金) 全建 理事会・施設見学会 (東京 鉄鋼会館)

### 平成29年9月以降の行事予定

- 9月 1日(金) 建設業振興基金板倉局長来館(キャリアアップ  
 説明)  
 5日(火) 正副会長会議  
 建築委員会 能登地区合同建築委員会  
 (鳳輪建設業協会)  
 7日(木) 三県専務・事務局長会議  
 (富山 ANAクラウンプラザホテル富山)  
 13日(水) 石川県土木施工管理技士会 特別セミナー  
 石川県景観審議会 計画部会 (石川県庁)  
 21日(木) 全建 理事会・協議員会  
 (東京 東京プリンスホテル)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)  
 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)  
 協会報の発行 毎月1日発行  
 (毎月10日前後納入、会員送付)  
 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)  
 贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

# 地区協会からのお知らせ

## (一社)金沢建設業協会

### 《行事予定》

- 8月 1日(火) 青：幹事会
- 8日(火) ゴルフ委員会  
建：企画委員会
- 9日(水) 建：役員会
- 21日(月) 建：広報・環境委員会
- 22日(火) 青：情報発信セクション
- 24日(木) 常任理事会

## (一社)加賀建設業協会

### 《行事予定》

- 8月 8日(火) 大聖寺土木事務所 道路クリーン作戦
- 26日(土) 建築委員会 親子ふれあい木工教室

### 《お知らせ》

9月24日(日) エコフェスタ inかが

## (一社)小松能美建設業協会

### 《行事予定》

- 8月 7日(月) 小松市との意見交換会
- 18日(金) 道路クリーン作戦
- 22日(火) 加賀地区合同建築委員会

## (一社)白山野々市建設業協会

### 《行事予定》

- 8月 1日(火) 白山清掃登山・外来植物除去(～2日)
- 4日(金) 道路クリーンキャンペーン
- 10日(木) 石川農林総合事務所との勉強会

- 8月23日(水) 監理技術者講習会
- 29日(火) 第3回CPDS講習会
- 31日(木) 石川土木総合事務所との意見交換会

### 《お知らせ》

9月10日(日) 第5回白山白川郷ウルトラマラソン

## 河北郡市土建協同組合

### 《行事予定》

- 8月 9日(水) 津幡土木事務所管内「道路クリーン運動」
- 27日(日) 津幡町防火訓練

## (一社)羽咋郡市建設業協会

### 《行事予定》

- 8月 8日(火) 土木部役員会
- 10日(木) 羽咋土木管内道路クリーン作戦
- 29日(火) 理事会

### 《お知らせ》

- 9月 5日(火) 中能登農林総合事務所との意見交換会
- 30日(土)迄 第14回「小学生の見た建設の絵」募集中
- 10月 4日(水) 管内4工場の生コン品質管理監査(～16日)
- 19日(木) 監理技術者講習会

## (一社)七尾鹿島建設業協会

### 《行事予定》

- 8月10日(木) 道路クリーン作戦 ボランティア  
土木委員会 道路クリーン作戦ボランティア  
建築委員会定例会

総合資格学院は石川県建設業協会と企業提携している  
建設系資格スクールです。

会員の皆さまは、当学院の対象講座を**特別価格**で受講することができます!

平成29年度

# 1級・2級建築施工管理講座 開講!

# 1級・2級土木施工管理講座

→ 受講料・開講日やご質問など下記「金沢校」までお問い合わせください!

願書

取り寄せサービス実施中

- ・2級建築施工管理技士
- ・1級土木施工管理技士
- ・2級土木施工管理技士

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

\*平成24～28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%。平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。



## 総合資格学院

学院長  
岸 隆司



金沢校

TEL.076-237-6811

金沢市鞍月5-181 AUBEビル 2F

スクールサイト

[www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp)

総合資格

検索

コーポレートサイト

[www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)

Facebook [総合資格 fb]で検索!

## (一社) 鳳輪建設業協会

## 《行事予定》

- 8月 4日(金) 「道路ふれあい月間」に伴う「道路おもてなし  
クリーン作戦」(主催：奥能登土木総合事務所)
- 8日(火) 鳳輪協会 正副会長会議・理事会
- 22日(火) 現場監督職員の技術力向上研修  
(主催：奥能登農林総合事務所)
- 下旬 奥能登土木総合事務所との「意見交換会」  
(主催：奥能登土木委員会)

## (一社) 珠洲建設業協会

## 《行事予定》

- 8月 2日(水) 道路おもてなしクリーン作戦
- 9日(水) 理事会  
奥能登土木総合事務所との懇談会
- 25日(金) 土木部会
- 30日(水) 奥能登土木総合事務所と奥能登土木委員会と  
の意見交換会

## 関係機関からのお知らせ

## 「除雪機械管理施工技術講習会」のご案内

(一社) 日本建設機械施工協会北陸支部

平成29年度についても下記のとおり開催することと致しました。多数の参加をお願い申し上げます。

## 1、日時場所 (CPDS プログラム登録予定)

上 越	10月13日(金)	上越商工会議所	025 525 1185
富 山	10月17日(火)	富山県農協会館	076 445 2051
金 沢	10月24日(火)	石川県地場産業振興センター	076 268 2010
新 潟	10月25日(水)	新潟県建設会館	025 285 7111

時刻はいつでも9:30受付 10:00~16:00講習

## 2、会 費 会員：5,400円 一般：8,100円

## 3、申込み/問い合わせ

<http://www.niigata-inet.or.jp/jcmahoku/>

## 4、申込先 〒950-0965新潟市中央区新光町6-1興和ビル9F

(一社) 日本建設機械施工協会北陸支部

TEL 025 280 0128 FAX 025 280 0134

メール [jcmahoku@beige.ocn.ne.jp](mailto:jcmahoku@beige.ocn.ne.jp)

新刊のご案内  
平成29年版災害復旧工事の設計要領

(公社) 全国防災協会

「災害復旧工事の設計要領」(通称：赤本)は、昭和32年に初版を発行して以来、平成29年版で61版を数え、災害査定設計書作成時に幅広く活用されています。災害復旧事業は、被災後速やかに復旧することが事業に携わる者の使命であり、このために、災害申請資料の重要資料である災害査定設計書を迅速且つ的確に作成する必要があります。災害査定用歩掛は、災害査定設計書作成するための歩掛ですが、実施設計書との乖離が生じないように、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠しており、施工形態の変化や歩掛の合理化・簡素化の変化に合わせ、平成29年度も改訂致しました。

なお本書購入についての詳しいご案内は、下記協会ホームページに掲載されています。

[http://www.zenkokubousai.or.jp/toshyo\\_purchase.html](http://www.zenkokubousai.or.jp/toshyo_purchase.html)

## お問合せ

公益社団法人 全国防災協会事務局 03 6661 9730

E-mail [zenkokubousai@pop02.odn.ne.jp](mailto:zenkokubousai@pop02.odn.ne.jp)